

避難勧告や避難指示について

勧告・指示が想定されるもの

- ★火災による危険、危険物及び高圧ガス等の漏洩があったとき。
- ★がけ崩れ等の発生可能性があるとき。
- ★津波警報が発令されたとき。
- ★その他、災害の状況により、市長が認めるとき。

勧告・指示の方法

- ◆市民の皆さんには、広報車・あしや防災ネット及び自主防災組織の協力を得て、組織的な伝達を行います。
- ◆テレビ・ラジオ放送により周知を図るため、放送高へ協力を依頼します。
- ◆市民の皆さんの協力により、近隣に居住する独居老人や、日本語を十分に解さない外国人等の情報要保護者に対して、確実伝達されるようにします。

防災倉庫を活用しましょう



裏面地図上に記載している防災倉庫(▲印)には、災害時に市民の皆さんが利用できる初期消火用の小型ポンプや、救助用のバールや担架、炊飯装置や救護用のテントなどの資機材を備えています。全ての人が使い方を覚える必要はありませんが、地域の人たちで相互に活用できるようにすることも大事です。又、災害時にのみ活用するのではなく、地域の催し等で使用し、慣れ親しむようにしましょう。

救助用資機材

- 救助用水箱(組立式 1トン)
- テント (3.6m × 5.4m 簡、三方幕付)
- ラジオ (手回し充電機能、照明付)
- 水中ポンプ (水中に投入して給水、排水に使用)
- リッカー (折りたたみ式ノーバンクタイプ使用)
- 炊飯装置等(各べ30升炊き出し型、釜7升かほど付)
- その他

組立式簡易ベッド、防水シート、防護マスク、毛布、食器5点セット、10リットル水入れ容器、救急医療セット、非常用ロープ

初期消火用資機材

- 可搬動力ポンプ式 (池や川の水を吸引して、ホースと噴先を接続して放水)
- 組立式簡易水箱 (防火用水を貯水)
- ヘルメット (活動用、頭部を保護)
- その他 (消火器等)

救助用資機材

- 三脚ハロゲンライト (夜間の視界確保に使用)
- ハンドマイク (警報・広報等に使用)
- 発電機 (連続運転・約8時間)
- チェーンソー (木材の切断に使用)
- エンジンカッター (鉄板、鉄線、コンクリートの切断に使用)
- 可搬式ウィンチ (重量物にワイヤーを掛け、移動に使用)
- シャッキ (重量物の持ち上げ、押し広げに使用)
- その他

二連はしご、スコップ、シルハン、バール、のこぎり、おの、大ハンマー、ボルトクリッパー、ペンチ、担架、手袋、簡易救急工具セット

過去の大雨降雨量 (mm/分間)

原 位	80分間	降 雨 年
1	100.5	平成元年9月豪雨
2	87.7	昭和13年阪神大水害
3	76.0	平成9年7月豪雨
4	75.8	昭和42年7月豪雨
5	66.6	昭和53年9月豪雨

大正13年から平成16年までの降雨神戸河川排水局・芦屋市雨量ゲージデータによる。

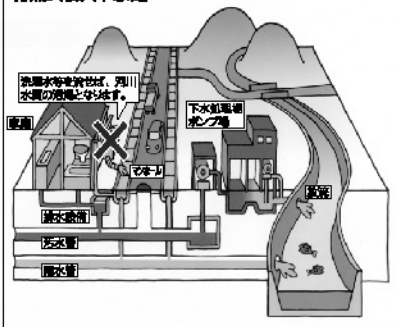
■平成9年7月13日豪雨では、床下浸水以上の浸水区域はありませんでした。

How drains work

下水道の役割

하수도의 역할

分流式公共下水道



下水道管には、汚水を流す汚水管と雨水を流す雨水管、汚水と雨水を同じ管で流す合流管があります。

汚水管の大きさは、水道の使用量により決められています。汚水管に雨水を流せば、雨天時に汚水マンホールが溢れてしまいます。また雨水管に洗濯水、建築工用のペイント・モルタル及び汚水を流すと、放流先の河川の環境を破壊します。

●雨水浸透施設の普及は安全なまちづくりに役立ちます。

近年、都市化により緑地の面積が減少しています。その結果、降った雨が一度に勢よく市街地に流れてくるようになってきました。雨水浸透施設は、雨水の流出量を減少させ、安全なまちづくりに貢献します。また、地下への雨水浸透により大地を潤して、緑あふれる環境づくりに役立ちます。宅内雨水排水の浸透化、駐車場・ガレージの浸透式舗装など、ご協力をお願いします。